

[横浜市旭区民文化センター]
平成25年度業務報告及び収支決算
[相鉄・神奈川共立 共同事業体]

1 施設の概要

施設名	横浜市旭区民文化センター サンハート
所在地	横浜市旭区二俣川一丁目3番地
構造・規模	鉄筋コンクリート造 地下1階地上6階建の、地上5階及び6階の一部を専有
敷地・延床面積	専有面積 2,564 m ²
開館日	平成2年8月4日

2 指定管理者

団体名	相鉄・神奈川共立 共同事業体 代表構成団体 株式会社相鉄エージェンシー
所在地	横浜市神奈川区栄町5番地1
代表者	代表取締役 三浦彰久
代表者設立年月日	昭和58年1月22日
指定期間	平成23年4月1日から平成28年3月31日まで

3 指定管理に係る業務総括

(1) 基本的な方針の総括

◆ 旭区民がいきいきと充実した生活を送るための文化芸術を通じた「喜びづくり」

指定管理者としてサンハートの運営業務を行うにあたり、「お客様の喜びを実現する」を理念に掲げ、『地域に根ざした指定管理者』として旭区民文化センターの運営管理を行ってまいりました。「高い利用率の確保とご利用者満足度の向上」「世代間交流」「次世代の育成」を意識して策定した本年度の事業計画に沿って全ての事業を計画通り達成することができました。本年度は前年度より引き続き実施した事業に加えて、「フラ・フェスティバル」「あさひ名画座プロジェクト」(区民企画)など地域の方々の参加による新たな試みを実施し、大勢の参加者を迎えることができ、また、参加された方々より高い評価をいただくことができました。年間の利用率については、さらなる向上に努めましたが、結果として高い水準を維持できたものの、前年度比2ポイント減の82%にとどまりました。

収支面では、自主事業収入は大幅な増収となりましたが、光熱水費一とりわけ電気料金の値上がり+猛暑など一増大や、新予約システム移行に伴うシステム習熟研修を集中して実施したことによる人件費の増加が追い打ちをかけ、厳しい結果となりました。

(2) 25年度の業務の方針及び達成目標の総括

① 事業の総括

＜プロアーティストが牽引するワークショップの継続実施による創造事業の拡大と新規展開＞

- 女優・五大路子氏（横浜夢座）、俳優・松井工氏（文学座）の協力による演劇ワークショップと、その成果を発表する「演劇ワークショップ発表会」を昨年に引き続き実施。日常でのコミュニケーション能力向上を目標とした「表現力アップコース」と、演劇分野での活躍を目指す「演劇ステップアップコース」を展開しました。参加費に学生割引を採用したことで若手（20代）の参加者が加わり、世代間交流が生まれました。また、ワークショップ終了後は卒業生として自主事業での影アナウンス・司会を依頼し、活動の場を設けました。
- ジャズピアニスト・佐山雅弘氏をはじめ、プロのジャズミュージシャンによる「ジャズクリニック」を本格始動させました。公募した受講生で「サンハートジャズアンサンブル」を結成、プロから直接指導を受けるなかで演奏テクニックを学び、3月に開催した「ジャズライブ」ではオープニングアクトとして出演、プロとの共演を果たしました。また、クリニック内容にテーマと常任講師制度を設け、一貫性を出したことで、24年度よりも受講生が増加しました。

＜アンサンブル・オーディションを軸とした育成事業の継続的展開と地域貢献の仕組み作り＞

- 25年度のオーディションとして、「歌とピアノ」「ピアノ連弾」「重唱」の3部門を開催。地域の若い演奏家に研鑽と演奏の場を提供しました。
- 市内の福祉施設等にアウトリーチ事業を積極的に広報し、アウトリーチ実施施設を増加させました。出演者には24年度のオーディション受賞者を起用し、サンハートの「顔」として活躍していただきました。

＜区民自らが支える「マイホール」意識の醸成＞

- 魅力的な特典を継続実現することで、「友の会」会員数の増加に結びました。
- 24年度に引き続き「利用者懇話会」を実施し、利用者から率直なご意見・ご要望をうかがいました。
- 「区民企画委員」制度については、従来の「区民企画委員」の他に「区民運営サポーター」を設けました。区民企画以外の自主事業公演でも、レセプション業務（チケットもぎり・お客様の誘導）等のサポートを依頼し、区民の方々とともに事業を実施しました。

＜神奈川フィルハーモニー管弦楽団の積極的支援＞

- 二俣川駅「駅DEライブ」での演奏を、神奈川フィルハーモニー管弦楽団金管五重奏に依頼し、公演を実施しました。また、特設ブースを設け、ブルーダル基金のPR活動を支援しました。
- 館内において、神奈川フィルハーモニー管弦楽団主催コンサートのチラシやポスターを掲示し、神奈川フィルハーモニー管弦楽団のPR活動をサポートしました。

②運営の総括

事業、施設・設備、舞台技術、窓口業務を総勢 23 名の職員・スタッフで、ユーザビリティの高いハートフルな対応を行い、顧客満足度の向上に努めました。特に今年度は旧予約システムから新予約システムへの移行に伴い、カルチャースタッフを中心に新システム習熟のための研修を繰り返し実施し、お客様への対応に万全を期すよう努めました。システムの不具合による影響はあるものの、年間を通じ平均 82%を超える高い稼働率を維持することができました。

③管理の総括

施設・設備の保守管理のため、ビル管理企業と密接な連携を図り、各種の点検を実施しました。また、開館以来 24 年を経過し経年劣化による故障や破損が日々発生する中で、応急処置から修繕まで速やかな対応に心掛けました。日常清掃に加えて害虫駆除、水質検査、空気環境測定を定期的実施し衛生面での環境維持に努めました。また、旭区所管課の協力のもと各種調査等を実施し、施設・設備の保全、長寿命化対策への取り組み強化に努めました。

④その他の総括

危機管理マニュアル等を策定するとともに、日常業務の中では職員による館内巡回や来館者への声かけなどを強化し、万が一の際にスムーズに対処できるよう努めました。また、全職員・スタッフによる旭区災害対策訓練への参加をはじめ、防災訓練、救命講習などにも積極的に参加し、お客様の安全確保、防災・減災に対する意識向上を図りました。

4 業務の達成状況

(1) 自主事業について

(1) 文化事業の企画および実施について

企画事業は「鑑賞事業」、「普及事業」、「育成事業」、「交流創造事業」の4つのカテゴリで偏りのないよう実施し、総合的に事業全体のビジョン実現に向けて取り組みました。

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
<ul style="list-style-type: none">● 鑑賞事業□ 身近で良いものを手ごろな価格で鑑賞できる環境を整え、地域のニーズに応えます。	<ul style="list-style-type: none">□ 身近な地域に根差したホールだからこそ実現できる企画を実施します。旭区にゆかりのある鎌倉武将をモデルにした「詠み芝居 重忠と菊の前」を開催し、芸術活動を通じて地域をより深く愛していただける工夫をします。	<ul style="list-style-type: none">■ 旭区ゆかりの鎌倉武将・畠山重忠をモデルとした「詠み芝居 重忠と菊の前」を2日間開催で実施しました。また、旭区内の菓子店に依頼し、公演オリジナル商品を製作販売したほか、重忠誕生の地である埼玉県深谷市と協力、二俣川駅での公演PRを	<ul style="list-style-type: none">■ 対象者別の企画数 一般： 3企画 家族： 1企画 若年層： 1企画■ 旭区ゆかりの人物を題材としたことで、地域資源の再発見・再認識を実現しました。来場者アンケートでは、「地元の歴史をたどる良い機会になった」などのお声をいただきました。

<p>□ 年に一度「サンハートスペシャル」として、一流のアーティストによる公演を実施し、地域の文化芸術活動を牽引し、地域活性化につなげます。</p>	<p>□ 横浜市が実施する「アーツフェスティバル」との連携を行い、旭区だけでなく、市全体の芸術文化活性化に貢献します。</p> <p>□ 参加者を対象としたアンケートを引き続き実施し、寄せられた意見を事業に反映し、満足度80%以上を目指します。</p>	<p>実施しました。</p> <p>■ サンハートスペシャルとして「オペラ&オペレッタ・ガラ・コンサート」を上演しました。また、「アーツフェスティバル」と連携することで、フェスティバルに関する広報協力も行いました。</p>	<p>■ 二期会や横浜シティオペラ所属のプロの声楽家にご出演いただきました。「ヘンゼルとグレーテル」ハイライト公演では、照明・セットを工夫することでホールの特性を活かし、臨場感溢れるステージとなりました。</p> <p>■ 「第50回あさひ亭まねき寄席」では、記念公演として横浜市出身の桂米丸師匠（落語芸術協会会長）を招聘、ホール300席のチケットが完売となりました。</p> <p>■ アンケート実施状況 平均回収率：51% 平均満足度：93% (※平均満足度は、「回答なし」を除いた割合)</p>
<p>[取組内容]</p> <p>● 普及事業</p> <p>□ これまで芸術文化にあまり接点のなかった芸術文化初心者も気軽に参加でき、きっかけとなるような企画を実施します。</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□ 「ロビーコンサート」や「親子でリズム！リズム！！リズム！！」等、若年層、特に子育てファミリーが、関心を高め、気軽に参加できるコンテンツを継続します。</p>	<p>[実施内容]</p> <p>■ クラシック音楽を気軽に楽しんでもいただける「ロビーコンサート」と「駅DEライブ」を継続実施しました。</p> <p>■ 乳幼児を対象とした「親子で楽しむ音楽会2013 えほんコンサート」を開催しました。</p>	<p>[達成状況]</p> <p>■ 「駅DEライブ」では神奈川フィルハーモニーの金管五重奏に出演を依頼し、お客様に優れた演奏をお届けしました。</p> <p>■ 絵本のイラストに合わせた演奏と朗読のほか、手遊び歌などをプログラムに加え、乳幼児が初めて音やリズムと触れ合う機会を創出しました。</p>

<p>□ 何らかの理由で来館が困難な方々が、芸術文化活動から離れていくのを防ぐため、アウトリーチ等の出前事業を展開します。</p>	<p>□ サンハート・アンサンブル・オーディションの入賞者との連携を深め、アウトリーチ先への派遣事業を継続実施します。今年度は特に、新規アウトリーチ先へのアプローチと開拓を積極的に実現します。</p>	<p>■ アウトリーチ事業として、例年の療育医療センター、区内小学校に加え、地区センターや生活支援施設など新規施設での活動を実現しました。</p>	<p>■ サンハート・アンサンブル・オーディションの入賞者にアウトリーチでの演奏を依頼、演奏機会を提供しました。また、落語芸術協会に協力を依頼し、小学校での落語に関するアウトリーチを実施しました。</p>
<p>[取組内容]</p> <p>● 育成事業</p> <p>□ 芸術文化を担う次の世代の育成を図ります。</p> <p>□ 区民企画委員の他、区民運営サポーターの募集を行います。</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□ 若い世代の音楽家や演劇志望者に対しての育成事業では、前年度の反省点を活かし、企画内容や運営方法をより充実したものへと成長させます。</p> <p>□ 区民企画委員や区民運営サポーターの定義をより明確にし、協力の内容が顕在化する分かりやすい運営を心がけます。</p>	<p>[実施内容]</p> <p>■ 「第2回サンハート・アンサンブル・オーディション」として「歌とピアノ」「ピアノ連弾」「重唱」の3部門を実施しました。</p> <p>■ 「演劇ワークショップ」では、特色ある2コースや、学生割引を用意し、参加者のニーズに答えました。</p> <p>■ 募集の際に「区民企画委員」と「運営サポーター」の定義を明確にし、それぞれの定義に沿った活動を実施しました。</p>	<p>[達成状況]</p> <p>■ 24年度の課題を活かしたことで、スムーズにオーディションを運営することが出来ました。また、引き続き大阪国際音楽コンクールと提携を結び、オーディション受賞者を推薦しました。推薦された受賞者は、入賞などの成績を取っています。</p> <p>■ 様々な年代から参加があったことで、世代間交流が生まれ、充実したワークショップとなりました。また、ワークショップ終了後は自主事業のアナウンスや司会を担当して頂き、活動の場を提供しました。</p> <p>■ 区民企画として例年のバレンタインコンサートに加え、「あさ</p>

			ひ名画座プロジェクト」を立ち上げ、お客様より好評を得ました。
<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 交流創造事業 □ サンハートと区民が一体となって文化芸術を育む事が出来る企画を実施します。 □ 事業を通じて区民が交流し、互いに刺激し合い芸術的且つ社会的に成長できる環境を提供します。 	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 平成27年度(サンハート25周年)を最初のゴール地点と捉え長期的な計画の第二期となる本年度は、演劇とジャズの二つの軸で「成長」をキーワードにワークショップ事業を継続します。 □ 次年度への事業継続希望率 50%を目指します。 □ 指導者となるプロのアーティストから客観的な評価を頂き、次年度に活かせるような運営体制を整えます。 	<p>[実施内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ プロミュージシャンから直接指導を受けられる「ジャズクリニック」開催にあたり、公募した参加者による「サンハートジャズアンサンブル」を結成しました。また、「ジャズライブ」ではオープニングアクトとして出演、プロとの共演を果たしました。 ■ 演劇ワークショップでは、参加者の目標にあわせたコースを用意し、指導を実施しました。 	<p>[達成状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ジャズクリニックでは、24年度の実施経験を踏まえ募集要項を作成したところ、パートによっては定員を越える申込みがありました。また、事業実施後のアンケートでは、70%が26年度への継続を希望しました。 ■ 演劇ワークショップでは、参加者にヒアリング調査を実施したところ、ほぼ全員が26年度への継続を希望しました。 ■ ジャズクリニック、演劇ワークショップともに、実施後に指導者と打ち合わせを行い、課題をブラッシュアップしました。

(2) 地域の文化活動に対する協力体制の構築（サポーター制度）について

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 地域活性化、地域価値向上等の目的を共有する企業や団体との協力体制を築きます。 □ 旭区の優れた文化事業の事業共催を通し 	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 平成 24 年度に協賛いただいた企業に引き続き協力の依頼を行います。 □ 二俣川ライフ内の店舗と「友の会」会員を対象としたクロスプロモー 	<p>[実施内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 24 年度に協賛いただいた企業に引き続き協力依頼を行いました。 ■ 二俣川ライフ内の9店舗から「友の会」 	<p>[達成状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 依頼の結果、二俣川再開発のスケジュール等の関係で、25 年度については協力見送りとなりました。 ■ 魅力ある特典協賛に
--	---	---	--

て支援します。	ションを継続実施しま す。	会員を対象とした 割引サービス等の 協力を受けました。	より、「友の会」会員 数が前年度比 15%増 加しました。
---------	------------------	-----------------------------------	-------------------------------------

(3) 自主事業に関する情報の提供及び効果的な広報宣伝活動について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
<p>□ 館の顔としての自主事業の活動を広く告知宣伝します。</p> <p>□ ターゲットとなる顧客層を把握し、一番適切な手段でPR活動を行います。</p> <p>＜PR手法の例＞</p> <p>①催し物案内 ②プレスリリース ③区報 ④ウェブサイト ⑤印刷物 ⑥館内掲示 ⑦ソーシャルネットワーキングサービス ⑧広告 等</p>	<p>□ あらゆるPR手法を昨年に引き続き活用します。</p> <p>□ 徹底したスケジュール管理を行い、戦略的なPR活動を行います。</p> <p>□ 他館との協力体制を強化し、告知物の配架・配布など互いに助け合いながら効果的なPR活動を実施します。</p> <p>□ 館の毎月のイベントカレンダーである「催し物案内」を、より読みやすく、また、情報内容を充実させてリニューアルし、顧客満足度を高めます。</p>	<p>■ [取組内容]の＜PR手法の例＞のみならず、二俣川駅での駅貼り広告、専門雑誌への広告掲載等を実施しました。</p> <p>■ 告知物の配架・配布における他館との協力体制を引き続き強化するとともに、自主事業のジャンルに合わせ、横浜市内の楽器店や自治体にも協力を依頼しました。</p> <p>■ 催し物案内をリニューアルし、文字の大きさやレイアウトを工夫、読みやすさを追求しました。</p>	<p>■ ターゲットとなる顧客層に適した媒体での告知をすることで、参加者・来場者の増加につながりました。また、24年度から開始した「ツイッター」では、フォロワー数が370人(26年3月現在)を突破し、利用者との気軽に身近な情報交換を可能としています。</p> <p>■ 催し物案内では、催事情報のみならず、職員によるコラムや出演者へのインタビュー記事などを掲載し、「読み物」としてもお楽しみいただける紙面となりました。</p>

(4) 自主事業を中心とした事業全体のマーケティングについて

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
<p>□ 区民目線での利便性を徹底的に検証し、事業が認知されてから参加に至るまでの一連の流れを改善します。</p> <p>□ 固定客に対してチケット割引サービス等を提供する「友の会」</p>	<p>□ 従来の来館型チケット販売方法ではなく、あらゆる客層に対応した多種多様な販売方法を考案します。</p> <p>□ 友の会会員数 120 名を目標とします。</p>	<p>■ オンラインチケットティングサービス「カンフェティ」でのチケット販売を継続しました。</p> <p>■ 自主事業のチケット販売を他会場で行う「出前販売」を実施しました。</p>	<p>■ オンラインチケットティングサービスはパソコンや携帯電話で簡単にチケットを購入出来るため、遠方者や若年層からの支持があり、徐々に利用が定着しています。</p>

制度を継続します。			<ul style="list-style-type: none"> ■ 25年度友の会会員数は133名で、目標数を達成しました。
-----------	--	--	--

5 施設の運営に関する計画

(1) 顧客満足度の向上について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
<ul style="list-style-type: none"> ◆ 利用者サービスのさらなる向上に努め利用者ニーズに合わせたサービスを増やします。 ◆ アンケートやヒアリング等から区民・利用者のニーズを的確に把握します。 ◆ サンハート友の会を継承し、会員へのサービス向上と共に強力なサポーターとしての関係作りを図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> □ 施設利用者の発表会を広報支援し、直近1ヶ月以内のホール・諸室の空き状況をホームページでリアルタイムに発信する等により顧客満足度を向上させます。 □ 各年実施の利用者アンケートや自主事業等の来観者アンケートをはじめ、ヒアリングの随時実施と年1回利用者懇話会を開催して、ご意見・ご要望を的確に把握してサービス向上に努めます。 □ 改めてサンハート友の会の会員登録を行い、会員からの声を次年度の事業へ反映させる等施設のサポーター的存在として会の運営を行います。また、会員特典の充実等を図り、会員数増をめざします。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 施設利用者の発表会等のポスターやチラシを館内に掲示・配架し、広報支援を行いました。また、ホームページ内で直近1ヶ月以内のホール・音楽ホールの空き状況を毎週月曜日に更新、発信しました。 ■ 自主事業実施時の来場者アンケート、及び利用者懇話会を継続実施しました。また、受付スタッフによるヒアリングを日常的に行いました。 ■ 25年度友の会会員（継続・新規）を募集しました。会員特典については、二俣川ライフ内飲食店で使用できる割引やサービスを各店舗に協力依頼しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 館内で実施する施設利用者の広報支援はもとより、他館での公演チラシも配架協力をするなど、利用者の芸術活動を積極的に支援しました。空き状況については電話対応も含め、利用者に対して丁寧な対応を心がけました。 ■ 自主事業開催時の来場者アンケートでは、事業についての評価および感想をうかがうとともに、ニーズを把握し次年度の事業計画に反映させることができました。また、利用者懇話会では利用頻度の高い団体様をランダムに選出、率直なご意見・ご要望をうかがうことができました。 ■ 魅力的な特典を提供することで、友の会会員数は目標数を達成しました。また、会員の方はご来館されることが多いため、その都度ヒアリングを行い、事業や施設運営についてご意見をうかがいました。

(2) 的確な施設提供の実現について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
<p>◆ 効率的且つ安定した施設の開館・運営を行います。</p> <p>◆ 利用者アンケートや利用者懇話会からの声を基に満足度向上・利用促進を図ります。</p> <p>◆ 施設利用者へ専門的な利用方法等効果的なアドバイスを行います。</p> <p>◆ 周辺施設と連携して地域全体の賑わい作りに貢献します。</p> <p>◆ 施設を有効活用し、施設の魅力作り・活性化を図ります。</p> <p>◆ 利用者へ施設のホール・諸室の空き情報をリアルタイムで広く発信します。</p>	<p>□ 開館日数 345 日 休館日 20 日 年末年始 12/29～1/3 施設点検・消防設備点検 14 日</p> <p>□ 「催し物案内」のリニューアルをはじめ、様々な媒体を活用し、施設のPRを充実させ稼働率向上に努めます。</p> <p>□ 舞台技術を含め、専門性をもった職員が常駐して、利用者からの相談・下見・利用打合せをはじめ、トラブル等緊急時にも迅速に対応します。</p> <p>□ 二俣川ライフ、グリーン・グリーン、二俣川駅等との連携事業を展開していきます。</p> <p>□ ロビーコンサートを引き続き実施すると共に、施設有効活用について区民からアイデアを募集します。</p> <p>□ 予約システムで閲覧できない直近1ヶ月以内のホール・諸室の空き情報を施設内のみならず、ホームページでもリアルタイムに更新し、広く発信します。</p>	<p>■ 開館日数 345 日 休館日 20 日 年末年始 12/29～1/3 施設点検・消防設備点検 14 日</p> <p>■ 「催し物案内」リニューアルし、大型化しました。また、各種媒体に加えてフェイスブックやツイッターなどSNSを使用した情報発信を実施しました。</p> <p>■ 舞台技術（音響・照明）の専門職員が常駐し、利用者の相談に丁寧に応えたとともに、利用に際してきめ細かなプロデュースを行いました。</p> <p>■ 相鉄線「二俣川」駅および駅北口「二俣川ライフ」等と連携し、「駅deライブ」、「友の会」事業などを実施、推進しました。</p> <p>■ ホールロビーを使用した「ロビーコンサート」、サンハート会議室を使用した「美音倶楽部」の実施や新聞閲覧専用コーナーの新設など、館内スペースを有効に活用しました。</p> <p>■ 直近の空き状況をホームページで随時更新しながら公開。また、館内に数ヶ月にわたる各室場の予約状況を掲出</p>	<p>■ 臨時の休館等もなく、所期の予定通り345日の開館を達成しました。また、施設点検・消防設備点検も予定通り実施することができました。</p> <p>■ 要望の多かった「催し物案内」を全面的にリニューアルし内容を充実させた結果「見やすくなった」「読み応えがある」などの評価をいただきました。</p> <p>■ 舞台技術担当職員の技術の高さ、真摯な対応に対してご利用者からお褒めの言葉をいただいたり、来場者アンケートにも音響・照明などを評価する回答が少なくありませんでした。</p> <p>■ 「二俣川」駅との連携で開催した駅構内でのコンサートには毎回多数の来場者を集め賑わい感を創出。また、「友の会」や自主事業とビル商店会との連携を実施し、相互の集客向上を図ることができました。</p> <p>■ 館内スペースを有効利用して実施した自主事業等はいずれも好評を得、年間を通して多数の来場者を獲得しまし</p>

		し情報提供を行いました。	た。また、新聞閲覧専用コーナーを設けたことで利用者間のトラブルも減少しました。 <ul style="list-style-type: none"> ■ リアルタイムな情報発信に努めるとともに、ネットユーザーではないご利用者（特に高齢者）については電話、窓口で丁寧な情報提供やご相談にお応えしました。また、新予約システムの運用開始にあたっては、さらに丁寧な対応をこころがけ、大きなトラブルの発生を未然に防ぐことができました。
--	--	--------------	--

(3) 的確な広報の展開について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
<ul style="list-style-type: none"> ◆ 地域・区民の文化芸術情報発信拠点としての役割を担います。 ◆ 情報の内容により、最適な媒体・手段により、効率的な広報・宣伝活動を実施します。 	<ul style="list-style-type: none"> □ 情報コーナーでは、文化芸術資料として、雑誌・図書・情報誌を設置するほか、類似の他施設情報の紹介を行うなど様々な文化芸術情報を得る事ができるスペースとして整備します。 □ 毎月の催し物案内発行（平成25年度リニューアル）、ホームページのリアルタイム更新をはじめ、当事業体ならではの媒体（交通広告・広報紙等）を有効に活用しPRを行います。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 文化芸術関係の図書類を情報コーナーに配架し、情報誌等については常に最新刊を閲覧できるような配置にも工夫をしました。情報コーナー周辺には、横浜市内はもとより神奈川県内各地域の公共施設情報なども用意しました。 ■ 毎月発行の「催し物案内」を大型化しより多くの情報を掲載できるようリニューアルしました。また、当事業体ならではの媒体（交通広告、地域情報紙等）を適宜活用し、適切か 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 情報コーナー（無料スペース）については、施設ご利用者のみならず、多数の一般来館者の方々（月平均約1,000人）にもご利用いただきました。「催し物案内」を大型化したことで催事情報だけではなく、アーティストや利用団体様へのインタビュー記事など様々な情報を掲載・発信することができました。交通広告・地域情報紙などを有効に活用し、自主事業の集客に貢献することができました。

		つ積極的なPRを実施しました。	
--	--	-----------------	--

(4) 専門性と区民の力を統合する組織づくりについて

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
<p>◆ 事業企画・施設管理・舞台技術の経験・実績豊かな職員・専門スタッフと、区民をはじめとした地域スタッフを配置し、全ての職員が適切なコスト感覚、効率的な管理とホスピタリティ精神をもった運営を行います。</p> <p>◆ 職員・スタッフの施設運営スキルアップのために研修を実施します。</p>	<p>□ 以下の通り人員を配置し運営します。</p> <p>【運営スタッフ】※2交代、常時2名以上配置 館長1名 副館長1名・職員5名</p> <p>【舞台技術】※利用状況により常駐2～3名 職員4名</p> <p>【受付スタッフ】 カルチャースタッフ12名（地域採用）</p> <p>□ 機材研修、個人情報保護研修、消防訓練等を実施し、運営に役立ちます。</p>	<p>■ 【運営スタッフ】※2交代、常時2名以上配置 館長1名・副館長1名・職員5名</p> <p>■ 【舞台技術】職員4名※利用状況により1～3名</p> <p>■ 【受付スタッフ】カルチャースタッフ12名総勢23名のスタッフが常時5名以上で運営しております。</p> <p>■ 消防・防災訓練、個人情報保護研修等を実施。また、指定管理者研修、各種セミナーに参加しました。</p>	<p>■ 運営スタッフ7名、舞台技術の専門スタッフ4名、さらに横浜市旭区民文化センターとしての受付業務を熟知したカルチャースタッフ12名との相互協力により、円滑かつ効率的な管理運営を行いました。</p> <p>■ 消防・防災訓練および個人情報保護研修を実施。また、指定管理者研修等に参加することで管理運営面でのスキルアップに努めました。</p>

利用状況等について

施設名	平成25年度	
	稼働率	利用者人数
多目的ホール	94% (72%)	51,178人
音楽ホール	96% (78%)	22,023人
その他		70,433人
合計		143,634人

※稼働率：日にち単位（時間帯単位）

6 施設の管理に関する計画

(1) 安全で効率的な維持管理・予防保全について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
--------	--------	--------	--------

<ul style="list-style-type: none"> ◆ 安全・安心できる施設の維持 ◆ 定期的な設備点検 ◆ 必要に応じた緊急点検 ◆ 施設設備の予防保全 	<ul style="list-style-type: none"> □ 設備等保守管理項目を遵守し、定期的な施設点検を実施します。 □ 老朽化した建築、設備のリスクマネジメント評価を行い、修繕計画の適正化を図ります。 □ 月 1 回の定期的な施設点検の他に、建築物点検マニュアルに準拠した点検及び、建築物定期報告に準拠した点検を年 1 回行います。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 施設・設備保守管理を的確に行うために、定期的に施設点検を実施しました。 ■ 開館後 24 年を経て老朽化した施設・設備の修繕すべきところを緊急度合に応じて、順次補修・改善を行いました。また、予防保全の観点から設備のオーバーホール等を実施しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 設備保守管理として、施設・設備の定期点検を実施し、安全な施設の維持に努めました。 ■ 定期的に施設点検および建築物点検マニュアルに準拠した点検を実施しました。また、施設・設備の破損・汚損・故障などの発生に際しては迅速に対応し、併せて関連設備の緊急点検を実施し、予防保全に努めました。
--	--	--	--

(2) 快適な環境の維持管理について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
<ul style="list-style-type: none"> ◆ 安心できる環境の維持 	<ul style="list-style-type: none"> □ 清掃項目一覧及び清掃内容一覧を遵守し、日常・定期清掃を実施します。 □ 美観を維持するように取り組みます。 □ 環境に配慮し、廃棄物の発生抑制に努めます。 □ 空気環境測定（VOC 等含む）を実施します。 □ 社内による、業務の品質管理点検を実施し、特別清掃・日常清掃の計画を策定します。 □ ヨコハマ 3R 夢など市の施策や事業に協力します。 □ 空気環境測定結果の報告書を作成します。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 日常清掃、定期清掃を予定どおり実施しました。 ■ 職員・スタッフ全員が常に整理整頓を心がけ、快適にご利用いただけるよう努めました。 ■ 館内にはごみ箱を設置せず、ご利用者にはごみの持ち帰りを促しました。 ■ 受付カウンターおよび事務室内のごみについて減量化に努めるとともに、ごみ分別を徹底しました。 ■ 館内の空気環境測定を毎月実施し、報告書を作成しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 各清掃をもれなく実施し、快適な環境保持と美観の維持に努めました。 ■ 情報コーナーの各テーブルに観葉植物と生花を配置し、館内を明るくソフトな雰囲気にしました。 ■ ごみ箱の撤去により、ごみ減量化に対する来館者の意識を高めるとともに、事務室内のごみ減量化に努め、確実な分別廃棄を実施しました。 ■ 中庭に旭区の花「あさがお」をはじめ、各種の植栽を施しました。グリーンカーテンとして猛暑時の

			<p>室温上昇を抑え、視覚的にもオアシス的な空間として、来館者からもご好評をいただきました。</p> <p>■ 空気環境測定、害虫駆除（防除）、水質検査（レジオネラ菌）などを定期的を実施し、安心してご利用いただける環境づくりをしました。</p>
--	--	--	--

7 その他の計画

(1) 危機管理対策について

ア 危機管理対策について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
<ul style="list-style-type: none"> ◆ 緊急時の対応 ◆ 利用者の安全・安心を確保 ◆ 防災管理 	<ul style="list-style-type: none"> □ 緊急内容別(事故、犯罪、火災、設備故障など)に連絡網の整備を行います。 □ 大規模災害等が発生した場合は、行政機関との連絡・協力を円滑に行えるよう訓練等を通じて体制を整えます。 □ 昨年度作成した「帰宅困難者一時滞在施設」としての運用マニュアルに基づき訓練を実施し、緊急時に備えます。 □ BCP 計画策定の基礎資料を作成します。 □ 緊急時の連絡網を作成するとともに旭区役所へ提出します。 □ 近隣在住職員をあらためて確保します。 □ 事故、犯罪及び火災等を 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 緊急時連絡網を整備・作成し、旭区に提出しました。 ■ 本年度の旭区災害対策訓練は、大規模災害の発生に備え、旭区役所をはじめ関係各所にご協力いただき、当館職員・スタッフ全員が参加して帰宅困難者一時滞在施設としての実践的図上訓練を実施しました。 ■ 当館職員およびスタッフは、相鉄線沿線在住者を中心に採用し、万が一の際に迅速な対応ができるよう備えました。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 帰宅困難者一時滞在施設として、緊急時に円滑に機能するよう、旭区の主要な関係各所のご指導のもと、全職員・スタッフが災害対策訓練に参加しました。併せて相互の連携、協力関係の確認を行いました。 ■ 旭区主催の初動対応訓練に参加し、災害発生時に避難誘導に備えて実際の建物を使用した実践的体験訓練を受けました。 ■ 受付カルチャースタッフ12名と職員6名は、旭区在住ないし概ね相鉄線沿線在住者で構成されていま

	<p>発生させない為に、職員による定時巡回を実施します。</p> <p>□ 消防計画書を作成します。自衛組織を結成し、日常の防火・防災に努めます。催事の際は、避難導線の確保等の指導を行います。消防計画書および緊急時対応マニュアルに基づき年 2 回防火・防災訓練を実施します。</p>	<p>■ 防災センター警備員による定時の巡回に加え、随時当館職員・スタッフが館内を巡回し、異常を早期発見・早期対処できるような努めました。</p> <p>■ 消防計画書を作成し、日頃より防火・防災に努め、安全確認のチェックを日々行いました。また、催事の際には利用団体の責任者に対し、事前に避難誘導確保についての指導を行いました。</p>	<p>す。</p> <p>■ 各職員・スタッフが適宜館内を巡回および事務室内モニターにて各室場内を確認し、安全・安心の確保に努めました。</p> <p>救急搬送 2 件</p> <p>万引き犯確保 1 件</p> <p>■ 消防計画書を作成し、年間 2 回の防災訓練を実施し、水消火器を使用した消火訓練をおこないました。また、当館が入居している共同ビル全体の緊急地震速報対応および消防訓練、救命講習に参加するなど、訓練を重ねることにより職員・スタッフの意識を高め、緊急時に迅速・的確な対処ができるよう備えました。</p>
--	---	--	--

(2) 自己評価・P D C Aサイクルの活用について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
<p>◆ 日報及び月報の作成・管理（業務記録の整備）</p> <p>◆ 業務計画書及び業務報告書の作成・管理（利用者のニーズや声を反映した業務計画の策定）</p> <p>◆ モニタリングの実施（モニタリングへの対応・体制の整</p>	<p>□ 業務記録の適正な作成・保管と共に重要な件に関して随時報告をおこないます。</p> <p>□ PDCA サイクルの推進とともに重要な件に関して随時報告出来る体制づくりに取組みます。</p> <p>□ 業務記録の一元管理によるモニタリングへの対応・体制を構築しま</p>	<p>■ 日々の業務内容を業務管理日誌、業務週報に記載し、情報の共有と周知を図りました。</p> <p>■ 月報の形式で毎月の運営管理報告を作成し、毎月旭区および共同事業体への報告を行いました。</p>	<p>■ 業務管理日誌を通じて日々の業務に関する職員間の情報共有の徹底に努めました。また、受付スタッフに対しては常用連絡ノートおよびミーティング議事録の回覧などを用いて情報共有、連絡強化を図りました。</p>

<p>備)</p> <p>◆ 自己評価の実施（自己評価 PDCA サイクルの導入と確実な運用）</p>	<p>す。</p> <p>□ 利用者アンケートの結果や利用者の声を、常に自己評価に反映させながら施設運営に取組みます。</p>	<p>■ 「平成 25 年度事業計画書」および「平成 24 年度業務報告及び収支決算」を作成し旭区役所に提出しました。</p>	<p>■ モニタリングでは運営管理業務実績の報告及び業務に関する打合せを実施し、施設・旭区との情報共有、協力体制の構築をおこないました。</p> <p>■ 毎月定期的に運営・技術職員が参加する全体ミーティングを実施しました。職員各々が報告・確認・提案などを行い、施設の運営管理および自主事業実施にあたっての問題を検討しながら最適な選択を行いました。</p>
---	---	---	--

8 収支について

(1) 経費削減の努力について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
<p>◆ 管理運営コストの削減に努めます。</p>	<p>□ 無駄な光熱水費の削減と、業務効率化等による無駄なコストの削減に努めます。但し、利用者の満足を阻害するようなサービス低下につながる必要コストの削減はしません。</p> <p>□ 軽易な修繕については職員自ら行い、修繕費を有効に活用します。</p>	<p>■ 館内照明の間引き点灯を昨年度より引き続き実施するとともに、点灯時間の短縮や冷暖房のこまめなオン・オフなどを行い光熱水費の削減に努めました。</p> <p>■ 当館常備の楽器類（ハンドベル、ドラムなど）などの軽微な修繕、部品交換は極力職員の手で行い修繕費等の経費削減につとめました。</p>	<p>■ 光熱水費については、電気料金の値上がりおよび猛暑が続いたこともあり 14.9%の増加となりました。また、人件費については新予約システム習熟研修を繰り返し実施したこともあり 4.7%の増加となりました。</p> <p>■ 修繕費、舞台保守費等については、当初予算を 3.2%下回ることができました。</p>

(2) 収入向上の努力について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
<p>◆ 収益向上、適正な受</p>	<p>□ ホール・諸室の空き状況</p>	<p>■ 館内施設の空き状</p>	<p>■ ホームページや館内</p>

<p>益者負担を設定し、外部資金獲得に努めます。</p>	<p>をホームページにてリアルタイムに公開し、収益の向上を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 魅力的な事業を実施し、入場料収入を最大限に確保します。 □ 事業協賛金、広告収入等の確保に努めます。 	<p>況については、館内に掲示するとともにホームページにリアルタイムに掲載しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 継続して実施した「あさひ亭まねき寄席」や「五大路子詠み芝居」、「演劇ワークショップ」、「バレンタインコンサート」に加え「フラ・フェスティバル」などを新たに実施しました。 ■ 「催し物案内」をリニューアルし、有料の広告スペースを設け広告掲載獲得の取り組みを行いました。 	<p>で空き状況をリアルタイムに閲覧できることで、高い施設利用率を維持するとともに、ご利用者の利便に寄与することができました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 集客力の高い魅力的な自主事業を多数実施したことで、自主事業収入は当初予算を52.3%上回りました。 ■ 事業協賛金については、二俣川駅南口再開発の関係から本年度は獲得することはできませんでした。
------------------------------	--	---	--

収支決算書

(単位：円)

項目	予算額	決算額	差額	備考
収入				
指定管理料収入	101,000,000	101,953,435	953,435	
利用料金収入	33,947,000	33,007,540	△939,460	
事業収入	4,284,000	6,523,675	2,239,675	
その他収入	1,769,000	1,462,332	△306,668	
合計	141,000,000	142,946,982	1,946,982	

支出				
人件費	67,500,000	70,663,150	3,163,150	
管理費	55,037,000	57,038,600	2,001,600	
内訳	保守管理費	17,141,000	17,095,870	△ 45,130
	舞台保守費	4,846,000	4,121,800	△ 724,200
	修繕費	2,261,000	2,245,364	△ 15,636
	光熱水費	12,589,000	14,462,174	1,873,174
	負担費	18,200,000	19,113,392	913,392
事業費	9,644,000	8,727,649	△ 916,351	
事務費	4,219,000	4,234,940	15,940	
一般管理費	4,600,000	4,600,000	0	
合計	141,000,000	145,264,339	4,264,339	

収支計	0	△2,317,357	△2,317,357	
-----	---	------------	------------	--

【別紙】自主事業実績一覧

No	実施時期	主催 共催	事業タイトル	会場	事業内容	入場料・受講料	入場者数 (見込者数)
1-1	25年6・9月、26年1月 年間計3回	主催	あさひ亭 まねき寄席 (鑑賞)	ホール	若手落語家による公演。季節毎や出演者によってテーマを設けたり、マジックなどの色物も採用。50回記念の1月公演では、桂米丸師匠(落語芸術協会会長)を招聘した。	一般 2,000円 (当日 2,200円) 中学生以下 1,000円 (当日 1,200円) ペア 3,500円 (前売りのみ) ※第50回のみ特別価格を設定。	第48回:287人 第49回:159人 第50回:297人 計743人 (900人)
1-2	25年4月	主催	詠み芝居「重忠と菊の前」 (鑑賞)	ホール	女優・五大路子氏(横浜夢座)と、俳優・松井工氏(文学座)による、旭区ゆかりの鎌倉武将・畠山重忠をモデルとした詠み芝居。	一般 3,500円 (当日 4,000円) 高校生以下 2,500円 (当日 3,000円) ペア 6,000円 (前売りのみ)	1日目:207人 2日目198人 計405人 (600人)
1-3	25年9月	主催	【サンハートスペシャル】 オペラ&オペレッタ・ガラ・コンサート (鑑賞)	ホール	横浜市のアーツフェスティバル連携企画として実施。二期会や横浜シティオペラ所属のプロの声楽によるコンサート。	一般 3,000円 (当日 3,500円) 高校生以下 2,000円 (当日 2,500円) ペア 5,000円 (前売りのみ)	169人 (300人)
1-4	26年3月	主催	ファミリーコンサート (鑑賞)	ホール	0歳から楽しめるクラシックコンサート。サンハート・アンサンブル・オーディションの最優秀グループへの演奏機会提供も兼ねた。	一般 1,000円 (当日 1,200円) 小学生以下 500円 (当日 700円) ※3歳以下で膝上鑑賞のお子様は無料	103人 (300人)
1-5	25年5月	主催	チャリティーコンサート (鑑賞)	ホール	東日本大震災復興支援目的で実施したフルーティスト2名とピアニストによるクラシックコンサート。フルートの楽器体験会も併せて開催。入場料の一部を全国公立文化施設協会へ募金。	一般 1,500円 (当日 2,000円) 高校生以下 500円 (当日 1,000円)	237人 (300人)

2-1	25年5・10月	主催	サンハートプレゼンツ駅 DE ライブ (普及)	二俣川駅	二俣川駅改札前広場でのアコースティック系音楽のアウトドアコンサート。第一回目は神奈川フィルに出演を依頼した。	無料	800人 (1000人)
2-2	25年8月	主催	オープンデー (普及)	諸施設	サンハートの諸施設を全面的に開放し、楽しい催し物に気軽に参加できる夏休みの一日限りのイベント。ホールでは旭区周辺で活動する団体によるフラフェスティバルを開催した。	無料 一部有料 500円	956人 (1000人)
2-3	25年4・7・11月、 26年1月	主催	ロビーコンサート (普及)	ホール ロビー	乳幼児や車椅子のお客様も広々と参加できるショートプログラムコンサート。アンサンブルオーディション受賞者の演奏機会提供も兼ねた。	無料	1,232人 (1500人)
2-4	25年9・10・11月	主催	アウトリーチ (普及)	旭区内各所	小学校や福祉施設を対象とした出前コンサートやワークショップのコーディネートを行った。アンサンブルオーディション受賞者の演奏機会も兼ねた。	無料 小学校：4校 ケアプラザ：1箇所 医療：1箇所 生活支援：1箇所	541人 (2,000人)
2-5	毎月実施 (8・1・2月以外)	主催	美音倶楽部 (普及)	会議室 音楽ホール	区民所有のアナログレコードをサンハート製作の真空管アンプとスピーカーシステムを使って鑑賞。7月と12月には、会員以外の一般参加も募集し、レコードコンサートを開催。	会費 1,100円 コンサート 500円	169人 (200人)

3-1	25年8月	主催	夏休み子ども講座(ハンドベル・ホールのお仕事体験) (育成)	カルチャー工房、ホール等	サンハートのハンドベルチーム経験者による子供の為のハンドベル講座と、ハンドベル発表会の裏方全般を担当するホールのお仕事体験講座。	ハンドベル 4,500円 お仕事体験 1,000円 (発表会は無料)	23人 (50人)
3-2	25年10月	主催	親子で楽しむ音楽会2013にしもとりええほんコンサート (育成)	ホール	乳幼児を対象に、初めて音やリズムと触れ合う機会を提供。絵本のイラストに合わせた演奏や朗読のほか、手遊び歌などを実施。	親子 1,000円 (大人 700円) (子供 300円)	279人 (200人)
3-3	25年8月	主催	サンハート・アンサンブル・オーディション (育成)	ホール	地域のアマチュア音楽家や近隣の音大生を対象に、クラシック室内楽を中心としたアンサンブルのオーディション。入賞者はファミリーコンサートやロビーコンサート等の出演権を獲得する。	参加費 5,000円	参加者15組33名 (100人)
3-4	通年	主催	区民企画委員区民運営サポーター (育成)	ミーティングルーム等	委員は公募にて募集し、月1回の会議を通して企画運営を実施。25年度は例年の「バレンタインコンサート」のほか、「あさひ名画座プロジェクト」を立ち上げた。運営サポーターは公演のレセプション業務等を担当する。	バレンタイン一般 2,000円 (当日 2,200円) ペア 3,500円 (前売りのみ) あさひ名画座参加費 500円	企画委員4人 サポーター1人 (20人) バレンタイン156人 あさひ名画座154人
4-1	25年5~7月	主催	五大路子演劇ワークショップ (交流創造)	ホール、カルチャー工房	五大路子と「横浜夢座」のメンバーによるオール世代対象の演劇ワークショップ。成果発表として、発表会を実施した。	参加費 24,000円 (学割 18,000円)	受講生: 20人 (25人) 発表会144人

4-2	25年10～ 26年3月	主催	佐山雅弘ジャ ズワークショップ (交流創造)	ホール 音楽工 房	佐山雅弘とクインテ ットメンバーによる ジャズバンドクリニ ック。クリニック受講 生は、ジャズライブに オープニングアクト として出演。	一般 3,000円 (当日 3,500円) 高校生以下 2,000円 (当日 2,500円) ペア 5,000円 (前売りのみ) 参加費 12,000円 メンバー割 8,400円	受講生 10人 聴講生 31人 (30人) ライブ 201人
5-1			サポーター制 度		協賛、団体割引、広告 収入等、サンハートの 事業趣旨に賛同され る企業や団体との連 携強化。	広告収入：1件	
5-2			クロスプロモ ーション体制		二俣川ライフや二俣 川駅など地域の公共 施設と協力体制を整 え、互いにメリットの あるプロモーション 方法を考案。		
5-3	通年		事業共催		旭区の文化芸術活動 に特に貢献する団体 を事業共催として支 援。	旭区民ミュージカ ル、旭区水墨画会、 あさひ茶花道協会、 旭区文化振興会、旭 区書道家協会、旭美 術協会、日本アンサ ンプル協会	
5-4	通年		広報宣伝活動		サンハートの各事業 についての的確な広報 宣伝活動を実施。	タウンニュース、横 浜市PRボックス、 交通広告、催し物案 内、ほか	
5-5	通年		サンハート友 の会		固定顧客層への優遇 体制を整え、顧客満足 度向上を図る。	会費 1,200円	133人 (120人)
5-6	通年		販売促進活動		従来の来館型販売方 法から、より幅広い方 法を考案。	オンラインチケット ティングサービス、 出前販売	

平成25年度利用料減免実績一覧表

A. 横浜市主催・旭区主催及び共催事業の減免額

平成26年4月28日

申請番号	催事の名称	利用日時	団体名	申請者名	申請日	承認日	利用施設名	減免率	施設利用料	付帯設備利用料	減免額合計	減免を受けようとする理由
7	方面別合同協議会	4月25日	横浜市教育委員会事務局 西部学校教育事務所	柿沼 隆一	4月10日	4月10日	ホール	50%	6,750	1,600	8,350	横浜市主催事業の為
8	第22回旭区書道展～公募～	9月27日～9月30日	旭区書道家協会	金子 薫静	5月2日	5月2日	アートギャラリー	50%	6,200	1,600	7,800	旭区共催事業の為
9	第26回あさひ茶花道展	5月25日～5月26日	あさひ茶花道協会	小川 白珠	5月3日	5月3日	ホール・楽屋・ギャラリー・ミーティングルームAB・カルチャー工房	50%	75,100	22,300	97,400	旭区共催事業の為
10	第22回旭美展(公募)	10月23日～10月27日	旭美術協会	井口 豊	5月2日	5月2日	ホール・アートギャラリー	50%	109,750	74,750	184,500	旭区共催事業の為
14	平成25年度第34回旭区民文化祭作品展	11月28日～12月2日	旭区役所	濱 陽太郎	7月24日	7月24日	ホール	50%	102,000	57,000	159,000	旭区主催事業の為
20	区民ミュージカル5周年記念公演	12月6日～12月8日	RISING SUN	松崎 治幸	11月2日	11月2日	ホール・楽屋	50%	93,150	18,300	111,450	旭区共催事業の為
21	区民ミュージカルのリハーサル	12月4日～5日	RISING SUN	松崎 治幸	12月4日	12月4日	ホール・楽屋	50%	32,600	12,200	44,800	旭区共催事業の為
	小 計								425,550	187,750	613,300	

B. サンハート共催事業の減免額

申請番号	催事の名称	利用日時	団体名	申請者名	申請日	承認日	利用施設名	減免率	施設利用料	付帯設備利用料	減免額合計	減免を受けようとする理由
15	第13回日本アンサンブルコンクール予選会	8月15日	日本アンサンブル協会	小出 信也	8月15日	8月15日	ホール・楽屋	100%	44,000	23,800	67,800	当館共催事業の為
	小 計								44,000	23,800	67,800	

C. サンハート育成事業の減免額

申請番号	催事の名称	利用日時	団体名	申請者名	申請日	承認日	利用施設名	減免率	施設利用料	付帯設備利用料	減免額合計	減免を受けようとする理由
	小 計								0	0	0	

D. サンハート自主事業の減免額

申請番号	催事の名称	利用日時	団体名	申請者名	申請日	承認日	利用施設名	減免率	施設利用料	付帯設備利用料	減免額合計	減免を受けようとする理由
1	五大路子公演リハーサル	4月4日	旭区文館長	旭区文館長	4月16日	4月16日	ホール・楽屋	100%	20,000	7,200	27,200	自主事業のため
2	五大路子公演リハーサル	4月8日	旭区文館長	旭区文館長	4月16日	4月16日	ホール・楽屋	100%	18,000	1,000	19,000	自主事業のため
3	五大路子公演リハーサル	4月10日	旭区文館長	旭区文館長	4月16日	4月16日	ホール・楽屋	100%	20,000	10,600	30,600	自主事業のため
4	五大路子公演リハーサル	4月12日	旭区文館長	旭区文館長	4月16日	4月16日	ホール・楽屋	100%	32,600	39,500	72,100	自主事業のため
5	五大路子公演「詠み芝居 重忠と菊の前」	4月13日～4月14日	旭区文館長	旭区文館長	4月16日	4月16日	ホール・楽屋	100%	137,800	80,400	218,200	自主事業のため
6	ロビーコンサート Vol. 9	4月15日	旭区文館長	旭区文館長	4月16日	4月16日	ホール・楽屋	100%	24,100	5,400	29,500	自主事業のため
11	フルート演奏会 チャリティコンサートシリーズ	5月4日～5月5日	旭区文館長	旭区文館長	5月5日	5月5日	ホール	100%	81,400	38,000	119,400	自主事業のため
12	駅deライブ Vol.4	5月11日	旭区文館長	旭区文館長	5月13日	5月13日	ミーティングルームA・音楽工房A	100%	7,150	500	7,650	自主事業のため
16	ロビーコンサート Vol. 10	7月22日	旭区文館長	旭区文館長	8月17日	8月17日	ホール・楽屋AB	100%	24,100	10,100	34,200	自主事業のため
22	区民企画委員面接	4月22日	旭区文館長	旭区文館長	1月7日	1月7日	ミーティングルームA	100%	1,150	0	1,150	自主事業のため
23	区民企画会議	5月5日	旭区文館長	旭区文館長	1月7日	1月7日	ミーティングルームA	100%	1,150	0	1,150	自主事業のため
24	第48回あさひ亭まねき寄席	6月21日～6月22日	旭区文館長	旭区文館長	1月7日	1月7日	ホール・楽屋AB	100%	78,400	55,200	133,600	自主事業のため
25	美音倶楽部レコードコンサート(七夕)	7月5日	旭区文館長	旭区文館長	1月7日	1月7日	音楽ホール	100%	11,600	7,100	18,700	自主事業のため
26	ブラフェスティバル(オープンデー)説明会	7月3日	旭区文館長	旭区文館長	1月7日	1月7日	ホール	100%	23,000	3,700	26,700	自主事業のため
27	演劇ワークショップ(5/9～7/18)	5月9日～7月18日	旭区文館長	旭区文館長	1月7日	1月7日	ホール・楽屋AB・カルチャー工房	100%	259,000	8,800	267,800	自主事業のため
28	演劇ワークショップ ゲネプロ・本番	7月23日～7月25日	旭区文館長	旭区文館長	1月7日	1月7日	ホール・楽屋	100%	102,100	89,700	191,800	自主事業のため
29	子どもハンドベル講座(お仕事講座)	7月29日～8月3日	旭区文館長	旭区文館長	1月7日	1月7日	ホール・楽屋・ミーティングルームAB・カルチャー工房	100%	73,200	84,800	158,000	自主事業のため
30	ブラフェスティバルリハーサル(オープンデー)	7月31日	旭区文館長	旭区文館長	1月7日	1月7日	ホール	100%	26,600	52,400	79,000	自主事業のため
31	オープンデー	8月3日～8月4日	旭区文館長	旭区文館長	1月7日	1月7日	ホール・楽屋・音ホ・ギャラリー・MR・カルチャー工房・音楽工房	100%	154,200	65,800	220,000	自主事業のため
32	第2回アンサンブルオーディション	8月9日～8月11日	旭区文館長	旭区文館長	1月7日	1月7日	ホール・楽屋・ミーティングルームAB・カルチャー工房・工房ACD	100%	194,000	61,600	255,600	自主事業のため
33	第49回あさひ亭まねき寄席	9月6日～9月7日	旭区文館長	旭区文館長	1月7日	1月7日	ホール・楽屋	100%	78,400	32,700	111,100	自主事業のため
34	第1回第三者評価委員会	9月20日	旭区文館長	旭区文館長	1月7日	1月7日	ホール	100%	9,500	11,100	20,600	自主事業のため
35	オペラ&オペレッタ・ガラ・コンサート	9月8日～9月23日	旭区文館長	旭区文館長	1月7日	1月7日	ホール・楽屋AB・カルチャー工房	100%	122,000	159,400	281,400	自主事業のため
36	駅deライブ Vol.5 JAZZ	10月5日	旭区文館長	旭区文館長	1月7日	1月7日	ミーティングルームB・音楽工房D	100%	5,250	2,600	7,850	自主事業のため
37	にしもとろえ えほんコンサート	9月28日～10月14日	旭区文館長	旭区文館長	1月7日	1月7日	ホール・楽屋	100%	112,400	79,200	191,600	自主事業のため
38	ロビーコンサート Vol.11	11月6日	旭区文館長	旭区文館長	1月7日	1月7日	ホール・楽屋	100%	24,100	6,800	30,900	自主事業のため
39	美音倶楽部ウインターレコードコンサート	12月20日	旭区文館長	旭区文館長	1月7日	1月7日	音楽ホール	100%	4,700	8,100	12,800	自主事業のため
40	ロビーコンサート Vol.12	1月16日	旭区文館長	旭区文館長	1月19日	1月19日	ホール	100%	22,100	9,800	31,900	自主事業のため
41	あさひ名画座	1月19日	旭区文館長	旭区文館長	1月19日	1月19日	ホール	100%	66,900	8,000	74,900	自主事業のため
42	第50回あさひ亭まねき寄席	1月25日～26日	旭区文館長	旭区文館長	1月26日	1月26日	ホール	100%	75,400	32,100	107,500	自主事業のため
43	バレンタインコンサート	2月6日～8日	旭区文館長	旭区文館長	2月8日	2月8日	ホール・音楽ホール	100%	84,100	45,500	129,600	自主事業のため
44	ファミリーコンサート	2月24日～3月2日	旭区文館長	旭区文館長	3月2日	3月2日	ホール	100%	91,400	62,700	154,100	自主事業のため
45	佐山ジャズライブ練習①～⑤	10月5日～12月14日	旭区文館長	旭区文館長	12月14日	12月14日	ホール・音楽工房D	100%	93,500	41,900	135,400	自主事業のため
46	佐山ジャズライブ練習	1月11日～2月23日	旭区文館長	旭区文館長	2月23日	2月23日	ホール・音楽工房A・B・D	100%	115,100	50,700	165,800	自主事業のため
47	佐山ジャズライブ練習	3月2日～21日	旭区文館長	旭区文館長	3月21日	3月21日	ホール・音楽工房A・C・D	100%	184,100	116,000	300,100	自主事業のため
48	平成25年度利用者懇話会	3月22日	旭区文館長	旭区文館長	3月22日	3月22日	ミーティングルームA	100%	1,150	0	1,150	自主事業のため
49	ピアノ弾き込み	3月27日～31日	旭区文館長	旭区文館長	3月31日	3月31日	ホール	100%	38,000	15,000	53,000	自主事業のため
	小 計								2,417,650	1,303,400	3,721,050	

E. 相互協力事業の減免額 ※1

申請番号	催事の名称	利用日時	団体名	申請者名	申請日	承認日	利用施設名	減免率	施設利用料	付帯設備利用料	減免額合計	減免を受けようとする理由
24※2	相模鉄道安全講習会	4月25日	相模鉄道株式会社	小沢 重男	2月13日	2月13日	ホール・楽屋AB	50%	5,750	3,800	9,550	半額減免を受けた為
13	業務報告会	8月6日	相模鉄道株式会社	熊倉 寿一	6月28日	6月28日	ホール	50%	10,050	5,500	15,550	半額減免を受けた為
17	相模鉄道株式会社CS講演会	10月29日	相模鉄道株式会社	熊倉 寿一	10月7日	10月7日	ホール・楽屋AB	50%	5,750	6,650	12,400	半額減免を受けた為
18	相模鉄道株式会社CS講演会	10月30日	相模鉄道株式会社	熊倉 寿一	10月7日	10月7日	ホール・楽屋AB	50%	5,750	6,650	12,400	半額減免を受けた為
19	安全講演会	11月13日	相模鉄道株式会社	熊倉 寿一	10月11日	10月11日	ホール・楽屋AB	50%	5,750	5,350	11,100	半額減免を受けた為
	小 計								33,050	27,950	61,000	

	合 計								2,920,250	1,542,900	4,463,150	
--	-----	--	--	--	--	--	--	--	-----------	-----------	-----------	--

※1 二俣川駅構内で実施する当館自主事業「駅deLIVE」において利用料半額減免を受けているため

※2 H24年度に申請をしている